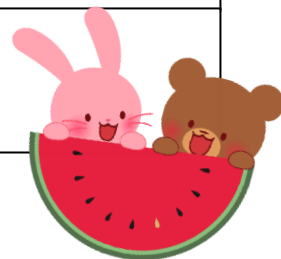


・どんぐり工房	瑞浪市陶町水上 669 番地の 1 〒509-6362	☎0572-62-1230 Fax0572-62-1231 (Eメール) <a href="mailto:ichii-06@ob3.aitai.ne.jp">ichii-06@ob3.aitai.ne.jp</a>
・第2どんぐり工房	瑞浪市寺河戸町 1087 番地の 1 〒509-6121	☎0572-56-1130 Fax0572-56-1131 (Eメール) <a href="mailto:donnguri@iaa.itkeeper.ne.jp">donnguri@iaa.itkeeper.ne.jp</a>
・わごうホーム	瑞浪市薬師町 2 丁目 34 番地の 1 〒509-6135	☎・Fax 0572-67-5571 (Eメール) <a href="mailto:wagou2018@ob.aitai.ne.jp">wagou2018@ob.aitai.ne.jp</a>
・学園台ホーム	瑞浪市学園台 2 丁目 13 番地の 6 〒509-6106	☎・Fax 0572-51-2809

# どんぐり工房だより 夏号



新体制となって…

令和4年度がスタートし早いもので5ヵ月が経とうとしています。3月21日から陶どんぐり工房にて生活介護事業が統合し、就労継続支援B型は第2どんぐり工房にて新体制をスタートさせました。その間、社会全体では未だ新型コロナウイルスの感染拡大が継続しており、『感染者が過去最多』というニュースを目にする機会が増え、改めて感染力の強さに驚きと不安を感じました。そのような中、7月28日に陶どんぐり工房の体育館にて第4回新型コロナワクチン接種を無事終えることが出来ました。暑い中でしたが、館医師のご協力のもと接種を希望された利用者さん、職員ともに無事に接種することが出来ました。翌日は欠席される方も多く、接種後は副反応が辛い方がみえることも特徴だと感じました。皆さまが健康第一に安心、安全に日々過ごせるよう祈るばかりです。

さて、新年度が始まり5ヵ月が経過する中で、統合当初はとにかく環境の変化に慣れることに必死でしたが、少しずつ体制が整い、利用者さん、職員共新体制に徐々に慣れてきたのではないかと感じています。体制が整う中で少しずつ課題も見え始め、次のステップに移る準備を始めなくてはと考えています。

私は4月からサービス管理責任者として新年度を迎えました。サービス管理責任者とは、障害福祉サービスにおいて利用者さんに適切なサービスを提供するため、個別支援計画の作成やサービスにかかる全般の調整などがおもな業務の内容になります。現状、生活介護事業31名、就労継続支援B型19名、共同生活援助10名の方が利用されており、お一人お一人に個別支援計画が存在しています。個別支援計画といっても実際は目に触れる機会が少なく、年に2回のモニタリングが唯一目にする機会です。「実はこんなものがあったのか」と思われる方も多いのではないのでしょうか。個別支援計画とは、利用者さん、ご家族の意向を聞き取り、希望する将来像を目標に現状の課題を整理し、具体的な支援方法を提案し、計画書として利用者さん、ご家族の同意をいただいたうえでサービスを提供する、いわゆる道筋となるものです。

9月に入ると令和4年度後期のモニタリングがいよいよ始まります。ご家族の皆さまにはお忙しい中お越しいただくことになり申し訳ないと思いつつも、直接お話を伺えることがとても貴重な機会でありがたく思っております。この機会に普段の利用者さんの頑張っている様子などお伝えできればと思っています。また、何か不安なこと、心配なことなどあればぜひこの機会にお話しいただければありがたく思います。ご家族の皆さんと協力しながら、利用者さん一人一人の希望や思いを形にできるように職員一丸となってサポートできればと思っています。



サービス管理責任者 稲葉 ちひろ

# 6月 バイキング



おいしい!  
みなさん笑顔  
いっぱいです!



6月3日はバイキングの日でした。メニューは中華バイキングで、チンジャオロースーやチャーシューなど、美味しい料理が盛りだくさん!

この日は第2 どんぐりの利用者さんも陶に集まって、久しぶりの再会と美味しいご飯のおかげでにぎやかで笑顔あふれる昼時間となりました♪



ごちそうさま  
でした☆





公園清掃  
ゴミ拾い



パン販売



緩衝材  
作り



## 生活介護

### 主な活動

- ・ 公園清掃 どんぐりの仲間は瑞浪中の公園に出現！  
少しのゴミも許さない！ゴミを拾い公園を綺麗にしています。
- ・ 梱包資材作り 陶磁器を送送する際に同梱する  
緩衝材を新聞紙を丸めて作っています♪  
火曜日から金曜日 一生懸命作業を行っています。

### 月曜日午前中はおでかけの時間

外に出て気分転換♪皆で楽しくドライブにでかけます！  
どんぐりの仲間ををお見かけの際には、  
ぜひぜひお声がけ&おてふりお願いします☆

### 方針

生活介護事業では、作業をしてお金を得て、外に出て  
遊びに行くという普通の生活を目標とし毎日支援を  
行っています。

月曜日は  
おでかけ



缶つぶし

皆様が寄付して下さったアルミ缶は利用者様が  
機械を用いてつぶしてくれます。

つぶしたアルミ缶は、回収業者を通して  
換金することができます。

皆様のご協力のおかげでたくさんのアルミ缶を  
集めることができます。

いつもご協力ありがとうございます。

お家で不要のアルミ缶などありましたら、  
今後ともご協力お願いいたします。







利用者の皆様

いつもおしごとおつかれさまです。

がんばってくれてありがとうございます。

どんぐり工房はお仕事以外も充実！

週に一度はお仕事はおやすみして

楽しい余暇活動に♪



納涼！  
うちわ作り  
体験

↑完成品がコチラ  
みんなの個性がきらり☆  
オリジナルうちわで  
夏を楽しみましょう～





# 就労継続支援 B 型



パン・クッキー製造



下請け作業



清掃作業



草取り作業



B型で頑張る M・M さん  
「毎日工房作業で洗い物や  
具材測り、パンの袋つめを  
頑張ってます。  
毎日が楽しみです。」

就労継続支援 B 型事業、略して B 型と呼ばれる事業の様子です。どんぐり工房の B 型メンバーは瑞浪の駅前にある第 2 どんぐり工房が拠点です。

駅をはじめ瑞浪市各地の公園やトイレの清掃、車の部品を組み立てる下請け作業、新聞紙で包み紙を作る下請け作業、ゴルフ場のディボット痕の修復作業を行っています。また、どんぐり工房の看板商品であるパンやクッキーを製造しているのも B 型のみなさんです。B 型の利用者さんのおかげで、瑞浪ではキレイなトイレや公園が使えますし、美味しいパンを食べることができます！

B 型の仕事は周りの人を笑顔にする、とても大切なお仕事です。毎日のお仕事は大変ですが、お仕事を頑張ったたくさんの工賃を頂いたり、「いつもありがとう」と地域の皆さんからお礼を言って頂けることが日々の活力となっています。



## 新体制となって…

令和 4 年度がスタートし早いもので 5 ヶ月が経とうとしています。3 月 21 日から陶どんぐり工房にて生活介護事業が統合し、就労継続支援 B 型は第 2 どんぐり工房にて新体制をスタートさせました。その間、社会全体では未だ新型コロナウイルスの感染拡大が継続しており、『感染者が過去最多』というニュースを目にする機会が増え、改めて感染力の強さに驚きと不安を感じました。そのような中、7 月 28 日に陶どんぐり工房の体育館にて第 4 回新型コロナワクチン接種を無事終えることが出来ました。暑い中でしたが、館医師のご協力のもと接種を希望された利用者さん、職員ともに無事に接種することが出来ました。翌日は欠席される方も多く、接種後は副反応が辛い方がみえることも特徴だと感じました。皆さまが健康第一に安心、安全に日々過ごせるよう祈るばかりです。

さて、新年度が始まり 5 ヶ月が経過する中で、統合当初はとにかく環境の変化に慣れることに必死でしたが、少しずつ体制が整い、利用者さん、職員共新体制に徐々に慣れてきたのではないかと感じています。体制が整う中で少しずつ課題も見え始め、次のステップに移る準備を始めなくてはと考えています。

私は 4 月からサービス管理責任者として新年度を迎えました。サービス管理責任者とは、障害福祉サービスにおいて利用者さんに適切なサービスを提供するため、個別支援計画の作成やサービスにかかる全般の調整などがおもな業務の内容になります。現状、生活介護事業 31 名、就労継続支援 B 型 19 名、共同生活援助 10 名の方が利用されており、お一人お一人に個別支援計画が存在しています。個別支援計画といっても実際は目に触れる機会が少なく、年に 2 回のモニタリングが唯一目にする機会です。「実はこんなものがあったのか」と思われる方も多いのではないのでしょうか。個別支援計画とは、利用者さん、ご家族の意向を聞き取り、希望する将来像を目標に現状の課題を整理したり、具体的な支援方法を提案し、計画書として利用者さん、ご家族の同意をいただいたうえでサービスを提供する、いわゆる道筋となるものです。

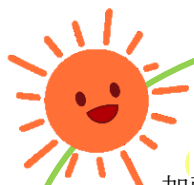
9 月に入ると令和 4 年度後期のモニタリングがいよいよ始まります。ご家族の皆さまにはお忙しい中お越しいただくことになり申し訳ないと思いつつも、直接お話を伺えることがとても貴重な機会でありがたく思っております。この機会に普段の利用者さんの頑張っている様子などお伝えできればと思っています。また、何か不安なこと、心配なことなどあればぜひこの機会にお話いただければありがたいと思います。ご家族の皆さんと協力しながら、利用者さん一人一人の希望や思いを形にできるように職員一丸となってサポートできればと思っています。

サービス管理責任者 稲葉 ちひろ





余暇時間の創作では皆さんの個性が光っています☆



太鼓の先生である  
加藤拓三さんと息子さんたち。  
10月からアメリカに行くため  
太鼓練習はお休みになります。  
10年以上もどんぐりで太鼓を  
教えていただきまして  
本当にありがとうございました！



〜〜 編集後記 〜



1年は早いもので、もう夏本番になりました。どんぐり工房では来月のモニタリングの準備が始まっております。半年に1回の面談の機会ですので、保護者さまにもどんぐりにとっても実のあるモニタリングになると良いと思います。

8月は毎年どんぐり夏祭りがありまして、コロナ渦の前である3年前の頃は準備で大忙しでした。なかなか収束しないコロナ渦で皆さんそれぞれ自粛した生活を送って下さっていると思います。7月末に利用者さんは任意で4回目のワクチンが無事に完了しています。今後も感染対策はしながらも、施設内で出来る行事や余暇の楽しみを提供していければと思います。余暇活動の1つである太鼓練習は私も6、7年ほど拓三先生と一緒にやってきましたので、おやすみになるのは寂しいですが、今まで教わったことを活かしていきたいと思います！

今回のどんぐり便りは種子島支援員にも協力して頂きました。これまでとは違うおしゃれな雰囲気ページをお楽しみいただけたと思います！これからも協力して頂きながらどんぐり便りを発行していきたいと思っておりますので、次の発行を楽しみにして頂けたら嬉しいです♪

生活支援員 佐藤礼佳